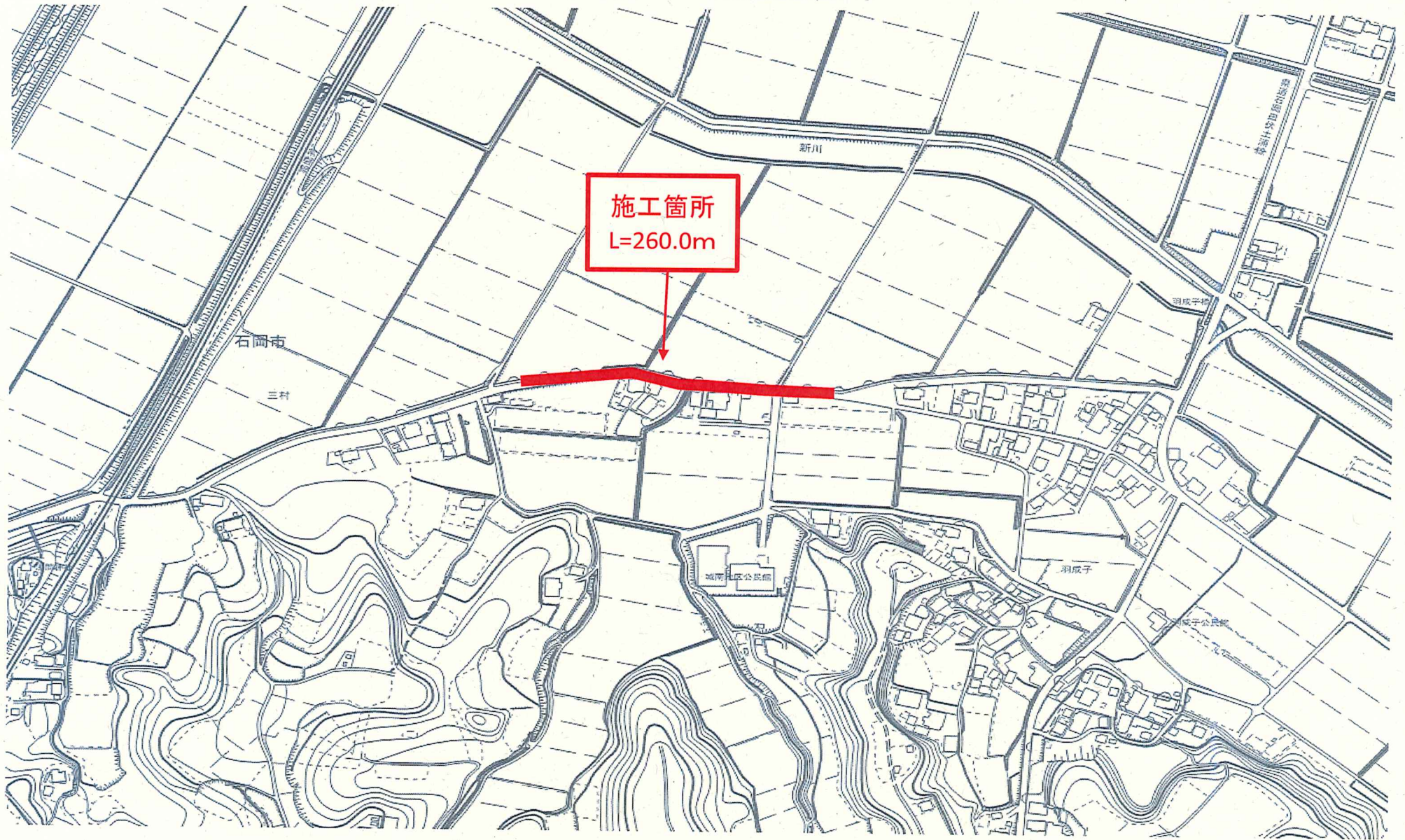


位置図

R2単・市道A0120号線道路舗装工事



特記仕様書

第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

第3章 現場条件

1. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

2. 安全管理

工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、工事の施工にあたっては、交通誘導員および保安員を配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意し施工するものとする。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

3. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

4. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

5. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

(2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

(3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。

I. 再資源化が完了した日

Ⅱ. 再資源化等をした施設の名称及び所在地

Ⅲ. 再資源化等に要した費用

6. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

7. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

8. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

9. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章1-1-5工事カルテの作成、登録」に則り、工事カルテの工事実績情報サービス(CORINS)への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

第4章 工事用地等

1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、

その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。

- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

第5章 工事材料

1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

2. 現場発生品

- (1) 本工事における床堀等による発生土は現場内にて利用するものとする。また、発生土の利用が難しい場合においては、監督員と協議するものとする。

3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1) 認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
舗装	アスファルト	再密 As20	

第6章 施工計画

1. 工事計画

現場代理人は、工事請負契約後、施工計画書を提出し監督員と協議した後、工事に着手すること。

2. 検測

本工事の基準点及び水準点（B. M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

3. 任意仮設

- (1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

- (2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第7章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報

告書を提出すること。

2. 工程管理

適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

(2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

(1) 「写真管理基準(案)」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。

(2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

第8章 その他

1. 現場管理

(1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石礫、木片・樹根・番線・ビニール紐・水糸等の工事残材は速やかに除去しなければならない。

(2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

2. 石岡市三村地内の第二浅間下踏切について、大型車両通行禁止のため踏切内に侵入しないよう注意すること。

第9章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議の上、その指示に従うこと。

第10章 工事成績評定について

本工事評定については、石岡市建設工事成績評定要綱に基づき評定を行うものとする。

工事数量総括（内訳）表

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路修繕			1	式		
舗装工			1	式		
舗装打換え工			1	式		舗装版切断 310.000 m 舗装版破碎 1,520.000 m2 殻運搬 76.000 m3 殻処分 76.000 m3 不陸整正 1,520.000 m2 表層 1,520.000 m2
区画線工			1	式		
区画線工			1	式		溶融式区画線 601.000 m
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 14.000 人日
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		
工事原価			1	式		
一般管理費等			1	式		
契約保証費用			1	式		
工事価格			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路修繕									
舗装工									
舗装打換え工									
舗装版切断					310.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					310.000	m			施工P 第0001号代価表
舗装版破碎					1,520.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(15cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)					1,520.000	m2			施工P 第0002号代価表
殻運搬					76.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要,厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(3.5km以下),費用の内訳(全ての費用)					76.000	m3			施工P 第0003号代価表
殻処分					76.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					179.000	t			
不陸整正					1,520.000	m2			
不陸整正 補足材料の有無(有り),補足材料平均厚さ(34mm以上39mm未満),補足材料(粒度調整碎石 M-30),費用の内訳(全ての費用)					1,520.000	m2			施工P 第0004号代価表
表層					1,520.000	m2			

本 工 事 費 内 訳 書

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 平均幅員(3.0m超),1層当平均仕上厚 70mm 以下(50 mm),材料(再生密粒度アスファルト混 合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	1,520.000	m ²			施工P 第0005号代価表
区画線工					
区画線工					
熔融式区画線	601.000	m			
区画線設置 外側線 白 W=15.0 c m 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(熔融 式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様 区分(実線 15cm),時間的制約の有無(無し) ,塗布厚(1.5mm),排水性舗装に施工する場 合の補正(無し),未供用区間の場合の補正(無し),熔融式塗料規格(含有量15~18%),塗 料区分(白),プライマー規格(アスファルト 舗装),費用の内訳(全ての費用)	490.000	m			第0006号代価表
区画線設置 破線 白 W=30.0cm 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(熔融 式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様 区分(破線 30cm),時間的制約の有無(無し) ,塗布厚(1.5mm),排水性舗装に施工する場 合の補正(無し),未供用区間の場合の補正(無し),熔融式塗料規格(含有量15~18%),塗 料区分(白),プライマー規格(アスファルト 舗装),費用の内訳(全ての費用)	13.000	m			第0007号代価表
区画線設置 ひし形 白 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(熔融 式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様 区分(矢印・記号・文字 15cm換算),時間的制 約の有無(無し),塗布厚(1.5mm),排水性舗 装に施工する場合の補正(無し),未供用区 間の場合の補正(無し),熔融式塗料規格(含 有量15~18%),塗料区分(白),プライマー規 格(アスファルト舗装),費用の内訳(全ての 費用)	23.000	m			第0008号代価表

本 工 事 費 内 訳 書

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
区画線設置 B.P付近 W=45.0cm 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 45cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	56.000	m			第0009号代価表
区画線設置 速度表示 黄 30 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(矢印・記号・文字 15cm換算), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(黄 鉛・クロムフリー), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	19.000	m			第0010号代価表
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	14.000	人日			
交通誘導警備員B	14.000	人日			
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					

本工事費内訳書

第 02-01-111-0-120 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)

第02-01-111-0-120号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-01-111-0-120号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-01-111-0-120号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	3	3.5km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 不陸整正

施工P(機17.66%, 労43.83%, 材38.51%, 市0.00%)

第02-01-111-0-120号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m	8.710	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	6.750	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	2.200	%			K3
運転手 (特殊)	27.670	%			R1
特殊作業員	8.510	%			R2
普通作業員	6.170	%			R3
世話役	1.480	%			R4
粒度調整砕石 M-30	34.030	%			Z1
軽油 1.2号	4.480	%			Z2
			(標準単価 積算単価))
条件名称		入力値		入力名称	
J01 補足材料の有無		2		有り	
J02 補足材料平均厚さ		10		34mm以上39mm未満	
J03 補足材料		11		粒度調整砕石 M-30	
J04 費用の内訳		1		全ての費用	

第 0005 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.55%, 労9.26%, 材89.19%, 市0.00%)

第02-01-111-0-120号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.000	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.160	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	0.160	%			K3
普通作業員	3.380	%			R1
特殊作業員	1.930	%			R2
運転手 (特殊)	1.880	%			R3
世話役	0.660	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(20)	81.510	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.150	%			Z2
軽油 1.2号	0.450	%			Z3
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	4	3.0m超
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 区画線設置

第 02-01-111-0-120号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			
軽油 1.2号	44.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	1	実線 15cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 区画線設置

第 02-01-111-0-120号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 破線30cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,130.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	50.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	50.000	kg			
軽油 1.2号	80.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	7	破線 30cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0008 号 代価表 区画線設置

第 0 2 - 0 1 - 1 1 1 - 0 - 1 2 0 号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	684.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	30.000	kg			
軽油 1.2号	132.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 夜間作業の有無	1	無し
J 0 2 施工方法区分	1	熔融式手動
J 0 3 豪雪補正の有無	1	無し
J 0 4 規格・仕様区分	13	矢印・記号・文字 15cm換算
J 0 5 時間的制約の有無	1	無し
J 0 6 塗布厚	1	1.5mm
J 0 7 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J 0 8 未供用区間の場合の補正	1	無し
J 0 9 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J 1 1 塗料区分	1	白
J 1 2 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0009 号 代価表 区画線設置

第 02-01-111-0-120号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線45cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,700.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	75.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	75.000	kg			
軽油 1.2号	80.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	4	実線 45cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0010 号 代価表 区画線設置

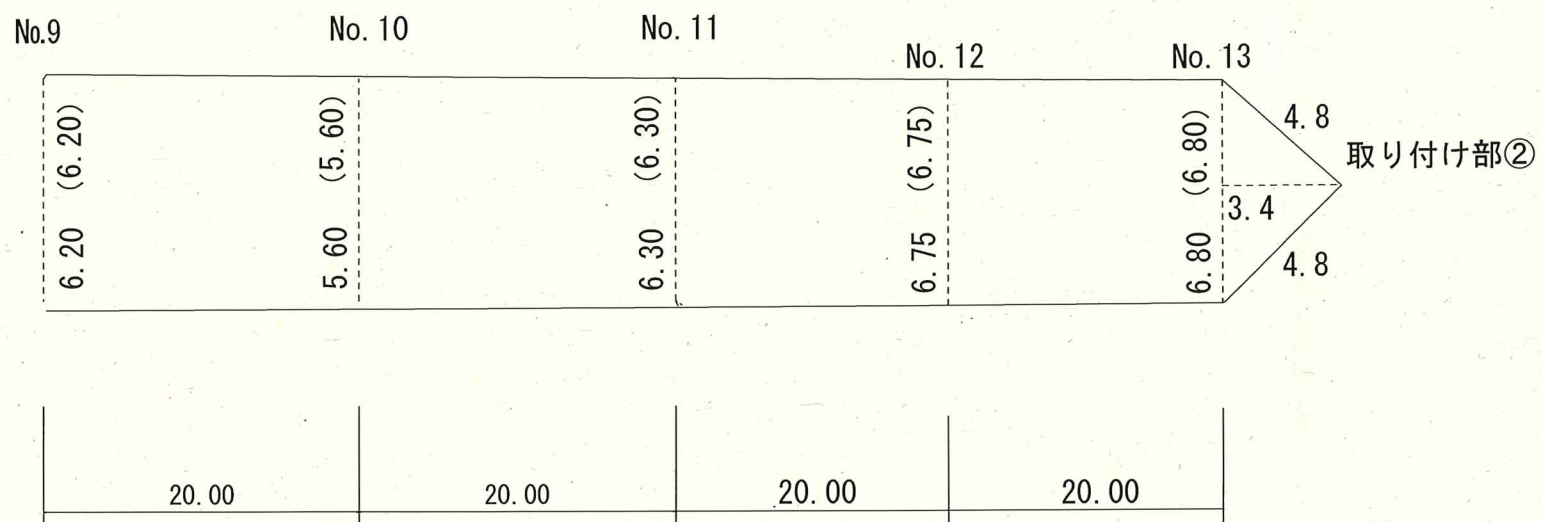
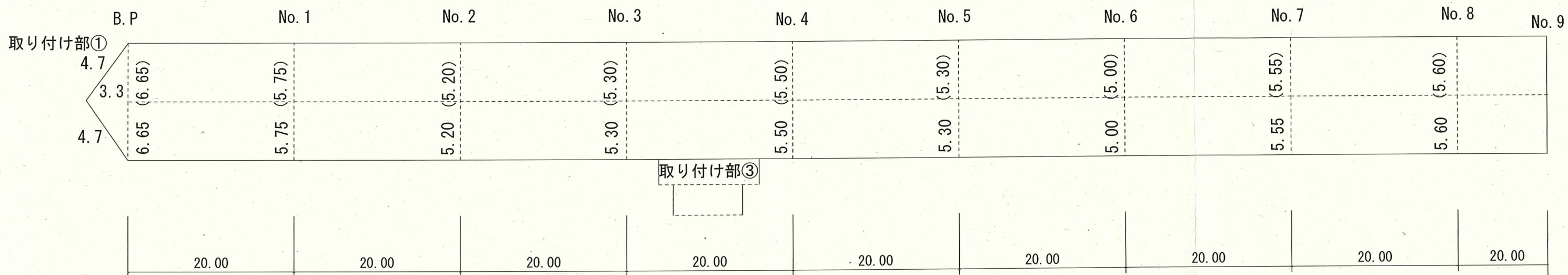
第 0 2 - 0 1 - 1 1 1 - 0 - 1 2 0 号

1000.000 m 当り

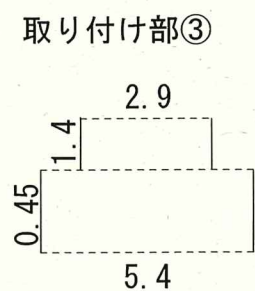
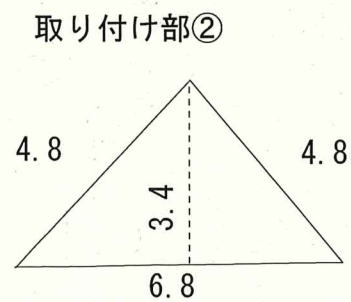
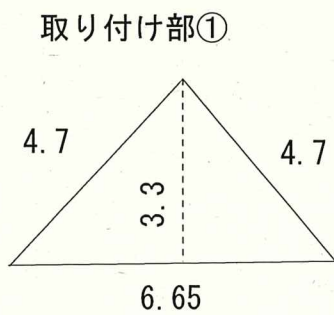
名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 黄鉛・フリー	684.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	30.000	kg			
軽油 1.2号	132.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 夜間作業の有無	1	無し
J 0 2 施工方法区分	1	熔融式手動
J 0 3 豪雪補正の有無	1	無し
J 0 4 規格・仕様区分	13	矢印・記号・文字 15cm換算
J 0 5 時間的制約の有無	1	無し
J 0 6 塗布厚	1	1.5mm
J 0 7 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J 0 8 未供用区間の場合の補正	1	無し
J 0 9 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J 1 1 塗料区分	2	黄鉛・クロムフリー
J 1 2 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

平面図



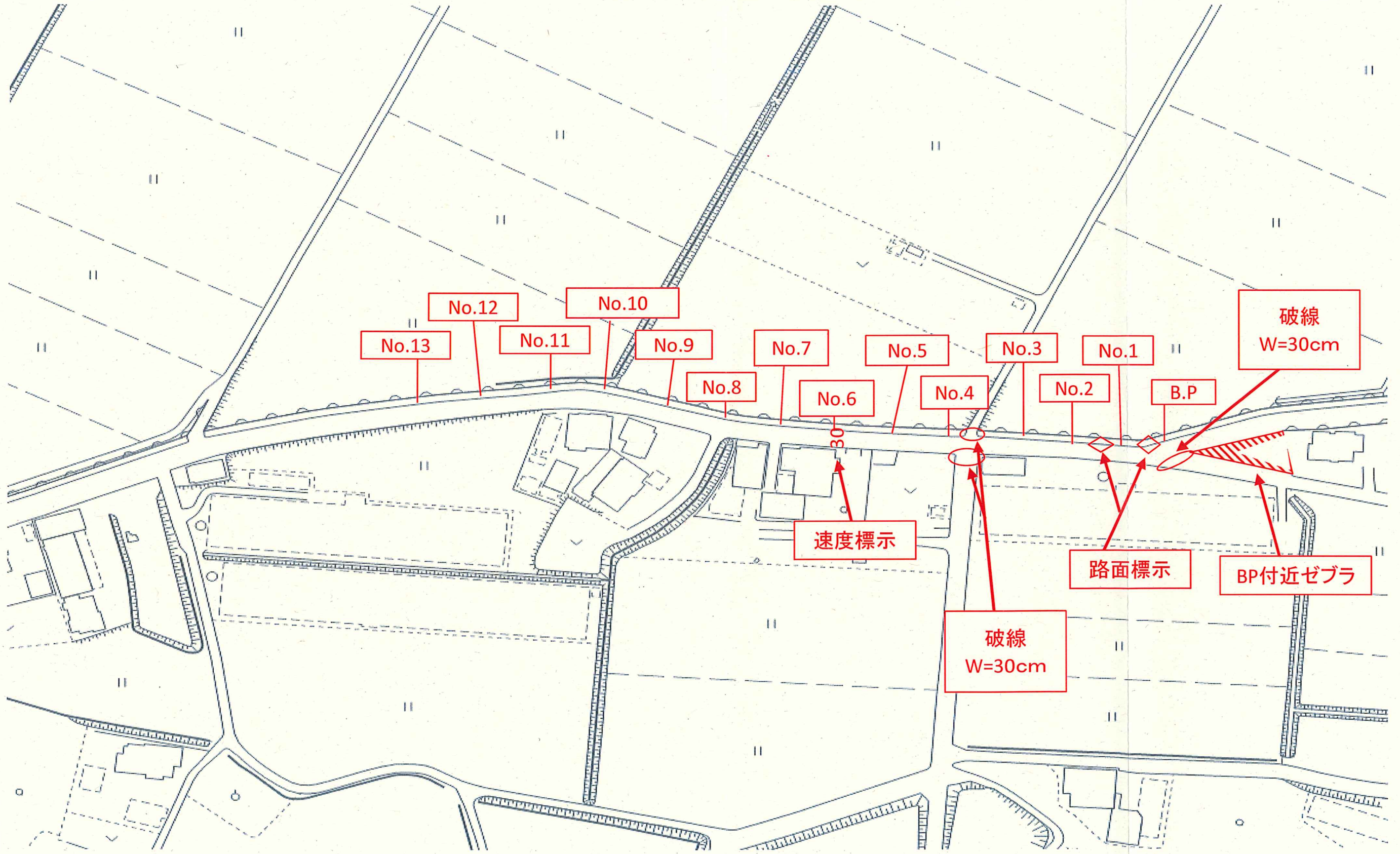
() は、不陸整正幅



年度	令和2年度	図面番号	1/1
工事名	R2単・市道A0120号線道路舗装工事		
図面名称	平面図		
工事箇所	石岡市 三村 地内		
石岡市			

平面図 FREE

R2単・市道A0120号線道路舗装工事



No.13

No.12

No.11

No.10

No.9

No.7

No.5

No.3

No.1

No.8

No.6

No.4

No.2

B.P.

破線
W=30cm

速度標示
30

路面標示

BP付近ゼブラ

破線
W=30cm